



報道関係者各位

2025年4月22日

今年はさらに增量！本日募集開始！ オリジナルお薬手帳 25.5万部無料提供キャンペーン

一般社団法人 くすりの適正使用協議会（東京都・中央区、以下協議会）は、オリジナルお薬手帳25.5万冊を、病院・薬局を対象に無料提供するキャンペーンを実施します。

本キャンペーンは今回で5回目となります。2021年の第1回は1万冊から開始し、2022年は5万冊、一昨年と昨年は20万冊を配布しました。薬局・医療機関から高評価をいただき、3年連続で2,000件を超える応募があったことから、**今年度は25.5万冊に増量**しました。今回を含めると、総計70万部を超えるお薬手帳を全国にお届けすることになります。

また、これまででは病院・薬局1施設につき100冊の提供でしたが、今年は150冊以上に増量します。

オリジナルお薬手帳には薬の記録欄のほか、患者向け医薬品情報「くすりのしおり®」の案内や、薬の正しい使い方について役立つ情報を掲載し、お薬手帳を通じた薬の適正使用を推進します。

4月22日（火）より募集を開始し、6月から各医療機関へ配布が開始されます。募集は協議会HPでのご案内のほか、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、日本保険薬局協会、日本女性薬剤師会、日本チェーンドラッグストア協会のご協力のもと、各団体会員宛てにもご案内を予定しています。

詳細な募集要項 → P2

昨年のキャンペーン参加者のコメント → P3

2025年度版お薬手帳のサンプル → P4へどうぞ！



【本件に関するお問い合わせ】くすりの適正使用協議会 樋口/安井
Tel: 03-3663-8891 Fax: 03-3663-8895 Mail: pr@rad-ar.or.jp



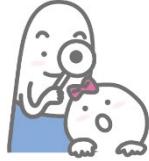
■キャンペーン募集要項

[募集期間] 2025年4月22日(火)～5月31日(土)

[募集対象] 2026年2月までにオリジナルお薬手帳150冊以上を患者さんに配布し終わることが可能な病院・診療所・薬局など保険医療機関

[募集要項]

- インターネットからの応募のみとなり、入力不備の場合は提供対象から除外させていただきます。
- ご応募は1店舗ごとに入力をお願いします。重複応募の無いようにお願いします。
- 配布後にアンケートのご協力をお願い致します。
- 提供されたオリジナルお薬手帳の転売はご遠慮ください。
- 2026年2月末までに配布し終わることが条件となり、150冊単位で希望数のご応募が可能です。（応募多数の場合は抽選とさせていただき、ご希望に添えない可能性があります。）
- 当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。
- 電話やメールでの当選結果のご照会にはお答えできません。



■キャンペーンサイト・応募はこちらのアドレスまたは以下の二次元コードからどうぞ

<https://www.rad-ar.or.jp/topics/post?id=bd7e01bf37356346080002f4>

※表紙イメージや二次元コードは当協議会ホームページのプレスリリースページからDL可能です。



なお、この事業は、一般財団法人日本宝くじ協会（東京都・千代田区、以下宝くじ協会）の助成事業として5回目の今年も採択されました。宝くじ協会は、毎年、約90団体を対象に助成を行い、宝くじの売り上げの約40%を公共事業や公益事業にあてて社会貢献を行っています。

👉一般社団法人 くすりの適正使用協議会について

くすりの適正使用協議会は、くすりの適正使用を普及・啓発するために、1989年に創立されました。「誰もが健康な生活を実現するため、信頼できる情報をもとに判断し、行動できる社会を目指す」ことをVISIONに掲げ、様々な会員が活動に参加しています。

医療用医薬品の情報を患者さん向けに分かり易く記載した「くすりのしおり®」や、製薬企業の作成する患者さん向け情報を「くすりのしおりミルシルサイト」で提供しています。

くすりのこと、見る、知るサイト

<https://www.rad-ar.or.jp/siori/>



【本件に関するお問い合わせ】くすりの適正使用協議会 樋口/安井

Tel: 03-3663-8891 Fax: 03-3663-8895 Mail: pr@rad-ar.or.jp

2024年度キャンペーン参加者のコメント

協議会のお薬手帳は、自分の情報（アレルギー歴など）やかかりつけ医、日常的に使用する薬局などを記載する欄が大きく見やすいので、手帳に記載する患者さん側も、手帳を見る薬剤師側もわかりやすくなっているのはとても良いと思います。

これからも薬の適正使用を推進し、患者さんの健康を守るためにお薬手帳を活用していきたいです。

病院では、医薬品の適正使用を通して、医療の安心安全に貢献しています。特に薬薬連携に積極的に取り組んでおり、退院後も患者さんが安心して薬物療法を継続できるように、薬局薬剤師への橋渡しツールの一つとしてお薬手帳を活用しています。

協議会オリジナルお薬手帳は、「残薬を書き込める」「かかりつけ医療機関が複数書ける」「かかりつけ薬局が書ける」「くすりの適正使用の案内がたくさんある」など、とても便利ですね。

薬局には妊娠希望する方や妊婦さんが来局することが多く、協議会オリジナルお薬手帳をお渡しする際に「このお薬手帳は“妊娠・授乳とくすり”や“子どもにくすりをのませるコツ”などわかりやすいサイトの案内があり、QRコードから見ることができます」とお伝えすると喜んでもらえました。妊婦さんは新規の患者さんも多く、お薬手帳を初めて持つ方も多くいらっしゃるので、お送りいただいたお薬手帳はほんとうに役立っています。これからも患者さんに正しい情報を提供していきたいと思います。病院では、入院患者さん中心にお薬手帳をお渡ししています。

協議会のお薬手帳は、かかりつけ薬局、かかりつけ医、ケアマネージャーについて記載でき、残薬記載ができるなど、いいとこどりしたレイアウトになっています。入院時にほしい患者情報が詰まっているので、地域や多職種で情報共有するのにありがたい一冊です。

患者さんからも挿絵がかわいい、掲載情報が役立つと評判がいいです。

協議会のお薬手帳は、表紙の絵がかわいくて、中もカラフルで見やすくなっています。

薬を正しく使用するための知識がQRコードで検索できるようになっているので、若い患者さんにも興味をもっていただけると思います。これからも、患者さんに正しい情報を伝えていきたいと思います。

